

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 30 日

福島県知事

内堀 雅雄 殿

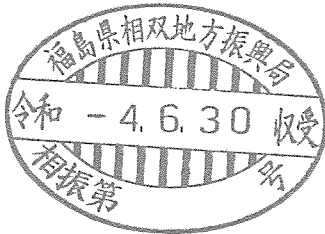
提出者

住 所 福島県 双葉郡大熊町大字熊字錦台180-1

氏 名 株式会社 福島総合支社

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0240-31-1531




廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 東京エネシス 福島総合支社
事業場の所在地	福島県双葉郡大熊町大字熊字錦台180-1
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：設備工事業
② 事業の規模	57億6900万円
③ 従業員数	150人（令和3年3月31日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラスチック → 粉碎 → 燃料チップとして</li> <li>・廃油 → 焼却 → 埋め立て</li> <li>・木くず → 粉碎 → 燃料チップとして</li> <li>・金属くず → 粉碎 → 鋼製原料として</li> </ul>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業廃棄物処理委託契約の管理</li><li>・産業廃棄物管理責任者</li><li>・産業廃棄物発生の把握</li><li>・マニフェスト管理</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業廃棄物処理委託契約（個別）</li><li>・産業廃棄物発生の把握</li></ul>

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	排出量	2,884.1 t	
	(これまでに実施した取組)		
・産業廃棄物を再生利用出来るよう分別排出制御している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	排出量	15.0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
・産業廃棄物を再生利用出来るよう分別排出制御する。 ・今年度は解体工事が発生しない為、大幅に減少する予定。			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物の種類ごとに分別 ・保管場所を整理整頓し、飛散防止処置実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物の種類ごとに分別し再利用できるよう努める。 ・保管場所を整理整頓し、飛散防止処置を行う。 ・パトロールにおいて分別状況の確認を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	総排出量	産業廃棄物の種類毎は別紙の通り
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	総排出量	産業廃棄物の種類毎 は別紙の通り
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	総排出量	産業廃棄物の種類毎 は別紙の通り
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	総排出量	産業廃棄物の種類毎 は別紙の通り
	全処理委託量_	2,884.1 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	134.4 t	
	再生利用業者への 処理委託量	2,716.1 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物を委託する業者を選定し、書面による契約を実施。</li> <li>マニフェストにより最終処分の確認実施。</li> <li>産業廃棄物は、分別収集を行い可能な限り再処理。</li> </ul>			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	総排出量	産業廃棄物の種類毎 は別紙の通り
	全処理委託量	15.0 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	8.5 t	
	再生利用業者への 処理委託量	6.5 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	
(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物を委託する業者を選定し、書面による契約を実施。 ・マニフェストにより最終処分の確認実施。 ・産業廃棄物は、分別収集を行い可能な限り再処理を行う。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
【前年度（令和3年度）実績】										
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥	廃油	がれき類	建設混合廃棄物
排出量	15.557t	3.14t	76.14t	46.6t	0.13t	1749.5t	25.47t	34.12t	922.87t	10.57t
① 現状	（これまでに実施した取組） ・ 産業廃棄物を再生利用出来るよう分別搬出制御している。									
【目標】										
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥	廃油	がれき類	建設混合廃棄物
排出量	4.0t	0.5t	0.5t	1.5t	0t	0t	0t	8.5t	0t	0t
② 計画	（今後実施する予定の取組） ・ 産業廃棄物を再生利用出来るよう分別搬出制御する。 ・ 今年度は解体工事が発生しない為、大幅に減少する予定。									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥	廃油	がれき類	建設混合廃棄物
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量											
	(これまでに実施した取組) 該当なし											
		【目標】										
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥	廃油	がれき類	建設混合廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量											
		(今後実施する予定の取組) 該当なし										

・今年度は解体工事が発生しない為、大幅に減少する予定。





自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】										
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥	廃油	がれき類	建設混合廃棄物
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 該当なし									
【目標】										
②計画	産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 該当なし									

・今年度は解体工事が発生しない為、大幅に減少する予定。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（年 令和3 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥	廃油	がれき類	建設混合廃棄物
全処理委託量	15.557t	3.14t	76.14t	46.6t	0.13t	1749.5t	25.47t	34.12t	922.87t	10.57t
優良認定処理業者への処理委託量	9.68t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	13.7t	24.49t	1.0086t	74.99t	10.57t
再生利用業者への処理委託量	5.877t	3.14t	76.14t	46.6t	0.13t	1735.8t	0.5t	0.0t	847.88t	0.0t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

① 現状

（これまでに実施した取組）

- ・ 産業廃棄物を委託する業者を選定し、書面による契約を実施。
- ・ マニフェストにより最終処分の確認実施。
- ・ 産業廃棄物は、分別収集を行い可能な限り再処理。

- ・ 今年度は解体工事が発生しない為、大幅に減少する予定。

【目標】												
産業廃棄物の種類												
全処理委託量	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥	廃油	がれき類	建設混合廃棄物		
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	8.5 t	0.0 t	0.0 t		
再生利用業者への処理委託量	4.0 t	0.5 t	0.5 t	1.5 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物を委託する業者を選定し、書面による契約を実施。</li> <li>・マニフェストにより最終処分を確認実施。</li> <li>・産業廃棄物は、分別収集を行い可能な限り再処理を行う。</li> </ul>											

・今年度は解体工事が発生しない為、大幅に減少する予定。